

Japan Water Agency
水機構 ニュース

NEWS

天皇陛下御在位三十年 記念ダムカードを発行

水資源機構が管理しているダムでは、ダムの働きや機能などをより知っていただくため、ダムを訪問いただいた方に「ダムカード」を無料で配布しております。2/24～5/31の期間、天皇陛下御在位三十年を記念して、特殊デザインの記念ダムカードを配布しています。4種類のダムカードには、それぞれ異なる背景のデザインがあしらわれています。



①『黄櫨染』
こうろぜん

天皇陛下が宮中祭儀でお召しになる束帯装束の色目を基調としたデザインです。



②『帛』
はく

天皇陛下が神事のお召しになる帛の御衣の「白」を基調としたデザインです。



③『宝物』

宝物をイメージしたデザインです。



④『お召し列車』

天皇、皇后両陛下がお乗りになるお召し列車の色を基調としたデザインです。

ミス日本「水の天使」が本社へ表敬訪問

春の訪れを少しずつ感じる3/4に、2019ミス日本「水の天使」の谷 桃子さんが、就任挨拶のため水資源機構本社にお越しになり、金尾理事長を表敬され、就任への意気込みなどを話されました。

4月からは、テレビ局に入社し、目標としてきた報道の仕事にも携わるとのことで、明るく快活にお話されていました。今後、水の広報官・外交官として日本全国の水循環に関わるイベントを通じて培った知識と体験を社会の人々へ広く伝え、水への意識を高めてくれることに期待したいと思います。



入社式 ～新しい仲間が増えました～



平成31年度採用職員の入社식을4/1、さいたま市の水資源機構本社で行いました。

今年度の採用職員数は44人(うち女性11人)です。職員は理事長による講話を聴講後、引き続き研修に臨みました。

1週間の研修終了後、職員はそれぞれの配属先へ赴きました。

それぞれの配属先での業務を通じ、徐々にではありますが機構業務に精通して参りますので、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

淀川水系

●川上ダム建設所(三重県)

基礎掘削工事から次の段階へ!

川上ダム建設所では、昨年9月からダムの土台となる岩盤を露出させるための基礎掘削工事を開始し、今年3月までに地表の土砂や柔らかい岩盤などを取り除く工事が概ね完了しました。

現在、今秋のダム堤体のコンクリート打設に向けて、コンクリート製造設備や練り上がったコンクリートを運搬するクレーン設備などの設置とともに、コンクリートを打設するための基礎地盤の仕上げを行っているところです。

今後は、ダム堤体のコンクリートの打設が始まり、ダムとしての形が目の前で展開していくこととなります。



ダムサイト右岸天端で展望台「WELCOME川上ダム観眺台(みてちょうだい)」を一般開放中。(詳細は、HPをご覧ください。)

国際業務報告会を開催!

3/13、水資源機構本社にて海外派遣者及び出張者による国際業務報告会を行いました。当報告会は、国際業務に関心がある職員などを対象に国際関連の情報共有を目的としています。当日は、国際グループに所属する職員により、フィリピンで行われたNARBO(アジア河川流域機関ネットワーク) 研修&ワークショップ参加報告、国際の仕事に携わりたいことを希望する国際登録職員がインドネシア、ミャンマー、フィリピンへの出張報告等を行いました。



また初の試みとして、本社危機管理監付職員によるUNESCO国際水技術ワークショップ、水関連災害リスク軽減についての英語による講話も行われ、多くの職員が関心を持ったようです。



女性管理職層を対象とした役員メンタリングミーティング

水資源機構では、昨年度より、ハラスメント対策と女性活躍推進について、重点的に取り組んでいます。

ハラスメント対策では、役員及び幹部職員対象のハラスメント防止研修や全職員対象のe-ラーニングなどを実施しました。

一方、女性活躍推進では、女性職員キャリア研修を実施したほか、執務環境の改善も進めています。また、平成31年3月には、女性管理職層を対象とした役員メンタリングミーティングも行いました。メンタリングミーティングとは、メンター(先輩:役員)が、メンティー(後輩:女性管理職層)のキャリア形成について、自己の知見から助言等の支援(メンタリング)を行うもので、機構では今回が初めての試みとなります。

これらの取組を通じ、今後とも、男女が共に働きやすい職場環境作りに努めて参ります。

